

# 平成29年度第2回佐倉市健やかまちづくり推進委員会会議要録

平成29年12月20日（水）

佐倉市役所社会福祉センター3階中会議室  
13:30～15:00

## <出席者>

天本安一委員・秤屋尚生委員・越部融委員・篠崎久美委員・山浦晶委員・辻村匡紀委員  
渡辺幸恵委員・小林裕委員・鵜崎金次委員・東野正明委員・小川美津子委員・宮内珠代委員

## <事務局>

青木和義健康こども部長、島村美恵子健康増進課長、  
原俊介副主幹（健診班長）、池澤優子副主幹（成人保健班長）、福田幸子主査（成人保健班）、  
片野園子主査（成人保健班）、豊福啓子副主幹（母子保健班長）、菅谷知妃主任保健師（母子保  
健班）、岡本貴子主査（予防接種班長）、上田裕美主任保健師（予防接種班）、梶加代子（西部地  
域班長）、辻口美佐枝副主幹（総務企画班長）、和田浩仁主任主事（総務企画班）、大畑まり主事  
（総務企画班）

## <傍聴人>

なし

### 1. 委嘱状交付

委員会に先立ち、佐倉市長あいさつ後、委員への委嘱状が交付されました。

### 2. 会長・副会長選出

委員ならびに事務局職員の自己紹介後、事務局から、佐倉市健やかまちづくり推進委  
員会条例第5条により、会長、副会長を置くことになっている旨の説明があった後、会  
長に天本委員、副会長に秤屋委員が委員の互選により全員一致で選出されました。

### 3. 傍聴規定について

佐倉市情報公開条例第28条の規定に基づき、公正かつ円滑な議事運営を確保する  
観点から、傍聴規程について事務局が説明しました。以後の会議の進行は、会長が議  
長となりました。

### 4. 議事・説明

#### (1) 会議録の作成等に関する要領について（資料4）

事務局が次の事項を説明しました。

会議録は要録として作成しており、その公表を市政資料室への配架により行っていたが、

今後は、市民の方が会議の内容を閲覧する機会を増やすため、佐倉市ホームページにおいても公表することとする。会議録の作成等に関する要領を資料4のとおり改正することについて審議をお願いする。

<意見、質問なし>

事務局提案のとおり、会議録の作成等に関する要領を改正することとしました。

## **(2) 佐倉市健やかまちづくり推進委員会の役割について (資料1)**

事務局が次の事項を説明しました。

ア. 委員会は、市民の健康づくり事業の推進を図るとともに、健やかなまちづくりのための健康増進計画に基づく施策及び事業の推進にあたり、効果的な運用を期するために設置されていること。

イ. 委員会の所掌事務に関すること。

ウ. 委員の任期は2年間であること。

エ. 任期中には、健康増進計画の見直しに当たって、市民意識調査の調査項目の検討、意識調査結果等をもとにした計画の中間評価、見直しを行っていただくこと。

<意見、質問なし>

## **(3) 健康増進計画『健康さくら21 (第2次)』について (資料5)**

事務局が次の事項を説明しました。

①計画の概要

ア. 計画策定の背景

イ. 計画策定の位置づけ

ウ. 計画の期間

エ. 計画理念と計画で目指す姿

オ. 基本方針

カ. 計画の体系

①計画の見直しについて

ア. 見直しの考え方

イ. 見直しの時期

ウ. 計画の見直しの方向性

エ. 計画の見直しのスケジュール

<意見、質問なし>

## **(4) 市民健康意識調査の実施について (資料6)**

事務局が次の事項を説明しました。

①市民健康意識調査の概要

②各調査票の内容

ア. 成人の生活習慣に関するアンケート

<質疑応答>

(委員) 配付資料の佐倉市の自殺者数の推移において、平成23年度と平成26年度の男性の自殺者数が多いが、その原因については分析しているか。また、そのような情報は公表されているのか。

(事務局) 厚生労働省のホームページにおいて、各市町村の自殺数や自殺の原因について公表している。男性の自殺は複合して起きると言われており、その要因として経済問題や健康、家庭の問題が挙げられる。佐倉市で特長的なのは30代から60代の自殺者が多いことである。

(委員) アンケートの回収率がとても良いのには、図書券をプレゼントしているなど、理由があるのか。

(事務局) アンケートの実施にあたってプレゼント等は用意していない。アンケートを送った方には、お礼と督促を兼ねて葉書をだしているので、それが、回収率の良さにつながっていると考えている。

(委員) アンケートには、調査に協力する側にとっても知ってよかったと思える情報、例えば、「成人では一日に8,000歩、歩くと良い」というような記載をしてはいかがか。

(事務局) アンケートの内容に加えられるよう検討する。

(委員) 成人の生活習慣に関するアンケートの間4、塩分摂取状況についての質問で、塩分摂取量の目安がグラムで表されているが、小さじ1杯で何グラムと表示するとわかりやすいのではないか。

(事務局) ご意見のように表示することとする。

#### イ. 妊娠・出産・育児に関するアンケート

##### <意見、質問なし>

#### ウ. 幼児・小学生の生活習慣に関するアンケート

##### <質疑応答>

(委員) 計画書27ページ「風呂場の事故防止のために、子どもがドアを開けられないように工夫している家庭の割合」で1歳児のみを指標としているが、アンケート調査は2歳児、3歳児も対象となっていることから、今後、指標の年齢を見直す予定があるのか。

(事務局) 指標の年齢を変更するのではなく、アンケート調査結果の1歳児をピックアップする予定である。

#### エ. 中・高校生の生活習慣に関するアンケート

##### <意見、質問なし>

## (5) その他

今後の予定について事務局が次の事項を説明しました。

平成30年度には、計画の見直しがあるため、年4回委員会を開催する予定である。会議は6月、8月、10月、12月を予定している。

### <質疑応答>

(委員) 呉市や松本市では特定保健指導について特長ある取り組みを行っている。佐倉市でアンケート調査結果によって取り組んでいることや特長ある取り組み、従前から実施している事業があれば教えていただきたい。

(事務局) 健康づくりに関するさまざまな事業を行っている。その一つとして個人や団体に健康づくりに関する目標（マイヘルスプラン）を設定し、達成した方や団体を表彰する取り組みを実施している。こういった取り組みは、市民の健康づくりの行動を起こすきっかけづくりになると考えている。特定保健指導については、糖尿病の重症化予防事業に積極的に取り組んでおり、個別訪問や電話による個別相談を実施している。市民健康意識調査の結果等から、市民の健康づくりの意識について把握し、今後、どのような取組を強化するかについては、今までの取り組みを踏まえて検討していく。

(委員) 次回の委員会では、中間評価や反省点を教えてほしい。

(事務局) 承知した。